

令和4年度 第2回（第23回）四国中央市子ども・子育て会議 議事要旨

日 時 令和4年11月1日（火） 13:30～15:00

場 所 四国中央市庁舎4階 401会議室

委員出席状況

【出席】

委員長	宮崎 さゆり	(四国中央市民生児童委員協議会)
副委員長	三宅 彩香	(あやか助産院)
委員	内田 多重子	(公募市民)
委員	中西 かふみ	(NPO法人ふれあい)
委員	高橋 眞弓	(四国中央市立土居東幼稚園長)
委員	三好 桂子	(四国中央市立豊岡保育園長)
委員	高橋 尚子	(社会福祉法人伊予三島福祉施設協会 みしま乳児保育園長)
委員	藤川 美江	(育児サークル「リトル☆スター」)
委員	中田 信也	(四国中央市地区労働者福祉協議会)
委員	出水 加奈子	(三島東幼稚園 PTA 副会長)

【欠席】

委員	和田 恵美子	(公募市民)
委員	土肥 義紹	(学校法人金生幼稚園理事長)

【事務局】

福祉部長	細川 哲郎
こども家庭課長	合田 晃友
こども家庭課	吉岡 美和、梶原 靖久、近藤 歩美
保育幼稚園課	阿部 美紀

【傍聴者】

なし

1. 開会
2. 部長あいさつ
3. 議事
 - (1) 第二期子ども・子育て支援事業計画の中間見直し案について
 - (2) その他
4. 閉会

【議 事】

(1) 第二期四国中央市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し案について

(前回、見直しが必要であるとした項目について見直し案を事務局より順次説明)

[委員長] 第二期四国中央市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し案について、只今事務局より説明があったが、本日の説明や冊子等で何かご質問やご意見があれば伺いたい。

一質問・意見等なし一

[委員長] その他、委員の方からご意見等あれば伺いたい。

[委 員] 子どもが通っている公立幼稚園は、園児の数がとても少なくなってきており、保護者の負担が大きいだけでなく、先生方の負担も大きくなっているように見受けられる。保育園だけでなく、幼稚園の環境改善にも力を入れていただけたらと思う。

[委 員] 働くお母さんが増え、公立幼稚園の子どもの人数は、だんだんは減ってきているが、行事等で保護者の方全員に園へ来ていただいても密にならず、親子で楽しむことができる所という良さがあり、そういった点をみなさんから発信していただき、保護者の方に幼稚園という選択もあるかなど、気軽に見学に来ていただけたらと思う。

[委 員] 保育園の入所申し込みの時期になり、保護者から兄弟で申し込む場合、必ずしも同じ保育園に入園できるとは限らないので不安だという声がある。

[委 員] 保育園では1・2歳児クラスの希望が例年多いが、受入人数が少ないため、上のお子さんは保育園に、下のお子さんは乳児保育園にと別々にあずけている保護者の方もいて、申し訳なく思うが、保育園、乳児保育園それぞれの良さを生かし、常に保護者に寄り添った保育をしていきたいと考えている。

[委 員] 自社は産後パパ育休について、厚生労働省からのアピールもあって、9月に労使協定を結んだ。今後、どう活用していくかという状況だが、講師を呼んでウェブ会議を行い、その様子を社員が自席のパソコンで見ることができるとい取り組みも始めている。

[委 員] 産後ケアについては利用したいが、昼間ご主人が仕事で車を使用していて、移動手段がないという方もいる。産後1ヶ月内こそ手厚いケアが必要なので、今後そういった方にも利用してもらえるように広く声掛けをしていきたい。

[委 員] 広報で保育士募集の記事が大きく出ていた。保育士不足解消のために、保育士が働きやすい職場環境をお願いしたい。

[委 員] 最近、大規模な保育園では、1人の保育士に対する子どもの人数が少なく、休憩時間も確保できる小規模の保育園を希望する保育士が多く、保育士確保に悩んでいる。

[委 員] 保育士の配置基準について、0歳児は子ども3人に対し、1・2歳児は子ども6人に対し保育士1人で、現実、その人数では無理で、休憩時間も確保できない。パートや補助の先生も配置してくれているが、独自の緩和した基準を設けている市もあると聞く。

[事務局] 当市は、国の基準に基づいている。0歳から2歳児については、申し込みが多く、基準通りの配置になっている園が多い。3歳児になると子ども20人に対し保育士1人になっているが、実際は20人を下回っていることが多い。今後、保育士の負担軽減のためにも、こういった現場の声を上に吸い上げていきたい。

(2) その他について

第24回 四国中央市子ども・子育て会議は、令和5年1月に開催予定。

会議の様子

